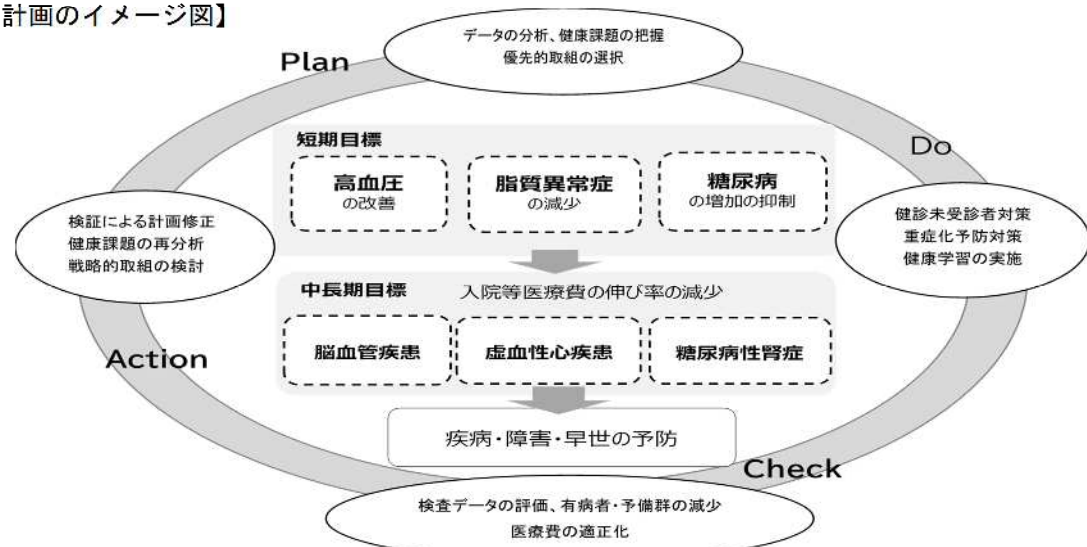


データヘルス計画中間評価について

【データヘルス計画のイメージ図】



短期目標、中長期目標の進捗状況及び新規目標

課題を解決するための成果目標	経過		改善状況 ※1	達成状況 ※2	目標値 R5
	H28	R1			
特定健診受診率の向上	35.8%	34.2% ^{※3}	↓	C	60.0%
特定保健指導の実施率の向上	30.0%	25.4% ^{※3}	↓	D	60.0%
健診受診者のうち高血圧症の者の割合の減少 (180mmHg/110mmHg 以上)	0.92%	0.84%	↑	B	0.65%
健診受診者のうち脂質異常症の者の割合の減少 (LDL コレステロール 160mg/dl 以上)	13.93%	13.53%	↑	C	11.90%
健診受診者のうち血糖コントロール不良者の割合の減少 (HbA1c8.4%以上)	1.13%	1.23%	↓	D	0.82%
【新規】健診受診者のうち血糖コントロール不良者の割合の減少(HbA1c8.0%以上)		1.81%	-		1.32%
脳血管疾患の入院医療費の減少	16.4 億円	15.1 億円	↑	A	H28 年度より減少
虚血性心疾患の入院医療費の減少	12.8 億円	9.6 億円	↑	A	【修正】
人工透析(糖尿病腎症)による医療費の減少	27.6 億円	26.2 億円	↑	A	R1 年度より減少
年間新規透析患者数の減少(国保加入者 千人あたり)	0.49 人	0.51 人	↓	C	H28 年度より減少
【追加】年間新規透析患者数の減少(後期加入者 千人あたり)		1.22 人	-		R1 年度より減少

※1 改善状況：H28 から R1 が改善しているものは↑、悪化しているものは↓ (改善率±5%以上変動は太文字)
 ※2 達成状況：A (目標を達成した指標)、B (目標を達成していないが、H28 から R1 の改善率が5%以上改善した指標)、C (H28 から R1 の改善率が5%未満である指標)、D (H28 から R1 の改善率が5%以上悪化した指標)
 ※3 北九州市修正値 (R3 年1月時点)

中間評価の概要

- 特定健診受診率・特定保健指導実施率については、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の流行による受診控えや3月の集団検診の中止が影響し低下した。
- 血糖コントロール不良者の割合の減少については目標を達成できなかった。
- 高血圧症の者の割合は順調に減少し、中長期目標の脳血管疾患や虚血性心疾患の入院医療費が減少するなど、保健事業の効果も生じている。

今後の方向性

中長期目標の達成に向け、以下の二点を中心に、引き続き取り組みを行う。

- 共通リスクである高血圧症、糖尿病、脂質異常症の減少、●重症化予防対象者を把握するための健診受診率の向上

見直し内容

成果目標

- ①達成した目標値を上方修正
中長期目標のうち、脳血管疾患、虚血性心疾患の入院医療費、人工透析による医療費が減少し、目標を達成したため目標値を上方修正した。
- ②糖尿病重症化予防を推進するため短期目標を追加
現行の糖尿病治療ガイドライン等の基準に従い、「血糖コントロール不良者の割合の減少」にHbA1c8.0%を追加。
- ③新規の保健事業に対する評価目標を追加
「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の取組に対し、中長期目標として「後期高齢者医療加入者の年間新規透析患者数の減少(加入者千人あたり)」を追加。

具体的内容

- ①特定健診・特定保健指導の実施(拡充)
安全・安心に健診が受診できるよう、予約制・定員制で実施している集団検診の申込方法を、電話やWebに変更し、市民の利便性を高めることで、特定健診受診率、特定保健指導実施率の向上を目指す。
- ②生活習慣病重症化予防連携推進会議による多職種連携(拡充)
糖尿病重症化予防連携推進会議と北九州市CKD(慢性腎臓病)予防連携システムに係る意見交換会を統合し、糖尿病の管理や糖尿病性腎症の予防についての多職種連携を拡充・強化し、糖尿病重症化予防を推進する。
- ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(新規)
国民健康保険で取り組む糖尿病性腎症重症化予防を切れ目なく実施するため、後期高齢者の保健事業と連携した取組を行い、健康寿命の延伸を目指す。

【保健事業の取組のイメージ】

